



『自然をたたえ、生物をいつくしむ』の趣旨である『春分の日』。毎年3月21日頃、太陽が黄経0度の春分点を通過する日で、真東から出、真西に沈むことで昼夜の時間がほぼ等しくなります。ようやくバランスのとれた一日が過ぎることが出来ます…？

開発の予算も13年ぶりに増となり「復興・防災対策」「成長による富の創出」「暮らしの安心・地域活性化」の3分野を軸としています。さあ、これから春に向けて仕事がいっぱい、いっぱい出てくることを期待して頑張りましょう。それにしても姿の見せない春です。方向性と金額予算が先行して、どこに、どの程度どの様なものが必要とされるのか。長い春になるような気が致します。もう少し冬眠状態かも知れません。

◇社団法人・日本砕石協会の動向

- ◎ (社) 日本砕石協会秋田県支部の会員工場で死亡災害が、また一件発生致しました。冬期間ならではの事故です。十分に注意するようにとのことです。
- ◎ 『発破に伴う飛石災害の防止について』平成24年に産業用火薬類の消費中の事故が4件発生しています。この4件は、何れも発破に伴う飛石に関するものだそうです。
 - ① 発破方法等の適正化による飛石防止の対策
 - ② 発破避難場所の適正化による作業者の安全確保の対策以上の点に十分な注意を図るようにして下さい。

◇北海道砕石協同組合連合会・(社) 日本砕石協会北海道地方本部の動向

- ◎ 北海道開発局主催『建設資材対策北海道地区連絡会』が、2月22日に開催されました。議題は、
 - ① 国土交通省土地・建設産業局 建設市場整備課より
建設市場整備課からの情報提供として、補正予算を受けた建設投資見通し及び主要資材の需要見通し。東北地整における資材不足への取組状況の紹介。資材不足の状況に対する体制整備の確保依頼。
 - ② 北海道開発局からの情報提供として、平成24年度補正予算、平成25年度予算概要等について協議・情報提供を受けてきています。※道本部として、支部会員は事業量が減少してきている状況の中、経営の合理化等をし、事業運営経費を確保してきている。新政権のもとデフレ脱却対策として補正・本予算で公共事業費を増額してくれることは大変に喜ばしい事ではあるが、一過性の予算にせず、継続性のある事業を主体として公共事業費を増大して貰いたい旨の要望しています。とは言うもののこの度の予算編成は各企業にとっては、期待感を増幅させるものであり発注される全体事業量を注視していきたいとした内容で懇談をしております。また、砕石事業を取り巻く問題についても協議しております。

◇道南地区砕石協同組合・(社) 日本砕石協会北海道地方本部函館支部の動向

- ◎ 函館骨材販売協同組合がゾーン単価の値上げを建設新聞に掲載しました。
…出来れば組合として、まとまった活動をしたと思っていましたが、骨販は骨販としては、組合としては運賃・土場単価の積算を中心に考えた中で協議して進めて参りたいと思います。流通委員会を中心に…
- ◎ 3月1日付けで、八雲砕石株式会社より岩石採取の認可申請に伴う誓約書の承認願がありました。

以上、報告とします。

組合に対してのご要望・ご意見等がありましたら、いつでも連絡下さい。

吉田が敏速に対応致します。よろしくお願い致します。

『さいせき・函館』… 20130300号